



① 丸亀市消防本部・ 中讃消防指令センター	〒763-0034 丸亀市大手町二丁目1番37号	TEL:0877-25-0119
① 北消防署	〒763-0034 丸亀市大手町二丁目1番37号	TEL:0877-25-0119
② 郡家分署	〒763-0093 丸亀市郡家町1033番地1	TEL:0877-28-7070
③ 南消防署	〒762-0083 丸亀市飯山町下法軍寺296番地1	TEL:0877-98-3388
④ 善通寺市消防本部・消防署	〒765-0013 善通寺市文京町四丁目1番3号	TEL:0877-64-0119
⑤ 多度津町消防本部・消防署	〒764-0033 仲多度郡多度津町大字青木951番地8	TEL:0877-33-0119

火災案内 >>> 050-1720-3344
丸亀市、善通寺市、多度津町内で火災が発生した際に、テレフォンサービスにて住人へ情報提供をしています。(通話料は無料です。)

丸亀市・善通寺市・多度津町消防通信指令事務協議会

〒763-0034 丸亀市大手町二丁目1番37号(丸亀市消防本部庁舎内) TEL:0877-25-4005

施工: NEC 日本電気株式会社 四国支社 〒760-0008 高松市中野町29-2(高松パークビル) TEL:087-836-1200

中讃消防 指令センター

高機能消防指令システム

総本山善通寺



駅前のSL(ハチロク)



桃陵公園



偕行社ライトアップ



丸亀城



地域住民の安全・安心な暮らしを見守る中讃消防指令センター

近年、全国各地で甚大な被害をもたらす災害が発生し、また高齢化の加速等により救急需要も増加傾向にあり、消防業務を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような状況の中で、中讃消防指令センターは地域の皆様の安全を守るため、火災、救急、救助などの災害対応を24時間365日体制で行い、期待と信頼に応えられるよう、さらなる高機能化を図りました。

これにより、住民の皆様からの緊急通報を即座に受け取り、適切な部隊に情報を伝達し、これまで以上に迅速・的確な消防活動を展開します。

システム更新による機能強化

中讃消防指令センターの特長

- 広域災害・大規模災害への効果的な対応
- 複雑多様化した消防需要への対応
- 近隣消防機関との連携強化
- 人員配備や施設などの効率的な運用

① ICT・DXの強化

災害現場の画像や建物構造、危険物などの情報をネットワーク上で共有し、効果的な戦術や指揮命令を可能にします。
また、指揮隊に配備されたタブレットを活用することで、情報共有を効率化します。
さらに、通報の内容から、予告指令のための音声を手動的に作成し、出動までの時間を短縮します。

② 大規模災害でも業務を継続

冗長化設計やクラウド基盤の活用により、停電や通信障害時にもシステムダウンを防ぎます。
これにより、長期化する大規模災害でも継続的な指令の運用が可能となります。

正確な情報確認と迅速な指令による、

現場到着までの時間短縮を実現

通報から活動終了までの一連の流れ

通報受付

119番通報を受信すると、指令台の画面に通報者の住所情報や発信地付近の地図が表示されます。



災害種別・地点特定

通報内容から火災・救急などの災害種別と、住所や付近目標物といった情報から災害地点を特定します。



出動隊編成

出向中の車両を含め、災害種別・規模に応じた最適な出動隊を自動で編成します。

車両編成を決定してください。 通報メッセージ

計画名	北野管内 建物火災	1	2				
車両名	出	特記	距離	時間	車両名	出	特記
第1							
北2ポンプ			2.26km	3'23"			
北1タンク			0.01km	0'00"			
北4ポンプ			1.58km	2'22"			
柳家1ポンプ			4.96km	7'26"			
北11予防			0.01km	0'00"			
南1ポンプ			6.74km	10'06"			
第2							
北5ポンプ							

出動指令

音声合成装置により消防署内に出動指令を行うとともに、詳細な指令情報を指令書にて伝達します。



出動

出動隊は、車両運用端末により最短で現場到着が可能なルートを確認し、いち早く災害現場に急行します。



現場活動

指令センターと情報共有を行い、的確な現場指揮のもと、現場活動を実施します。



指令装置

119番通報の受付から出動・活動支援まで指令システムの中心となる装置です。指令管制業務に関わる全ての有線、無線を取り扱うとともに、各装置を連動させて運用を行います。

外部地図

Googleマップに災害点情報を送信して、外部地図の拡張機能(ストリートビュー等)を活用できます。



統合型位置情報通知装置

通報者が動揺していたり、自分の居場所がわからないなど、正確な位置情報が得られない場合でも、通報地点を素早く特定できます。これにより災害地点の確認がスムーズに行え、より迅速な現場への出動が可能となります。



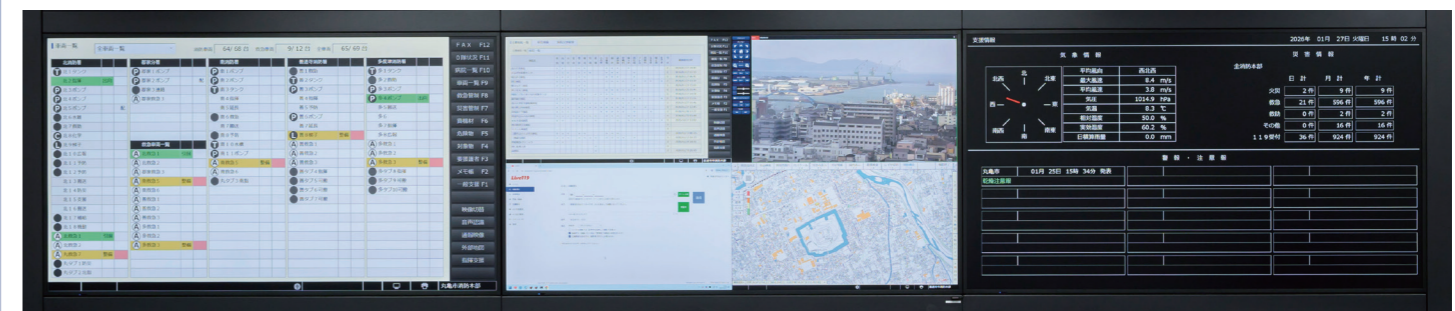
多目的表示機能

車両一覧や病院情報等の消防通信指令業務に必要な支援情報を状況に応じて表示させます。



表示盤

消防指令センターの前面に配置した表示盤に、車両運用状況や気象・警報注意情報、地図情報などを表示します。消防指令センター内で情報共有を図りながら、災害状況に応じた指揮活動をはじめとした現場活動全般の支援を行います。



車両運用表示機能

指令装置や車両運用端末装置と連動して、各車両の動態情報を一覧表示します。

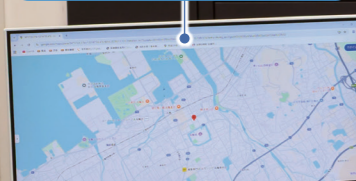
多目的情報表示装置

各車両の状況や病院情報など、指令業務に必要な支援情報を、状況に応じて表示させることができます。

支援情報表示盤

管内の119番着信状況や気象情報、警報・注意報といった各種支援情報を表示します。

インターネット情報モニター



地図用モニター



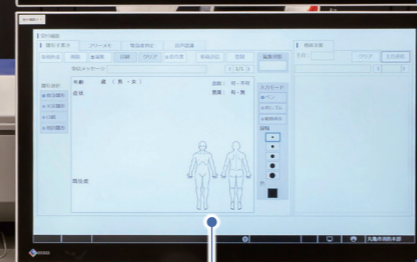
多目的情報モニター



自動出動モニター

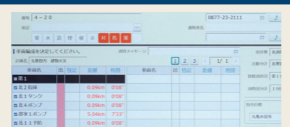


支援情報モニター



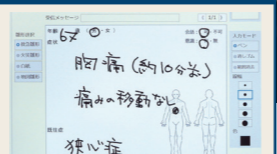
自動出動指定装置

災害の種別や場所、規模等の情報から、災害現場に近い最適な車両を自動的に選別、迅速な出動指令を行います。



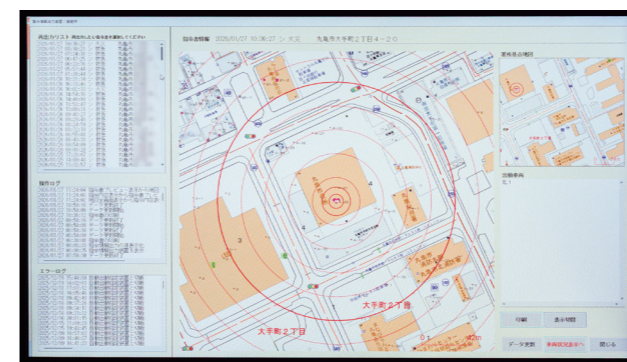
手書きメモ

119番通報で聴取した現場状況や傷病者情報などの詳細内容を画面にメモ書きして、そのまま画像として出動隊車両へ送信できます。



指令電送装置

出動指令に連動し、出動対象の署所へ指令情報や災害地点付近の地図を送信、大型ディスプレイに表示します。



出動車両運用管理装置

GPS(測位衛星)を活用して、リアルタイムに消防救急車両の位置活動状況を常時把握し、消防活動をサポートしています。



さまざまな通報手段への対応

多言語翻訳体制

日本語話者でない方からの119番通報に対応するため、音声合成による5カ国語対応や、電話通訳センターを利用した三者間通訳などの多言語体制を整えています。



音声認識機能

通話している内容を音声認識でリアルタイムに文字化して画面に表示します。事案入力やキーワード検索による目標物抽出などにも活用できます。



NET119、FAX119

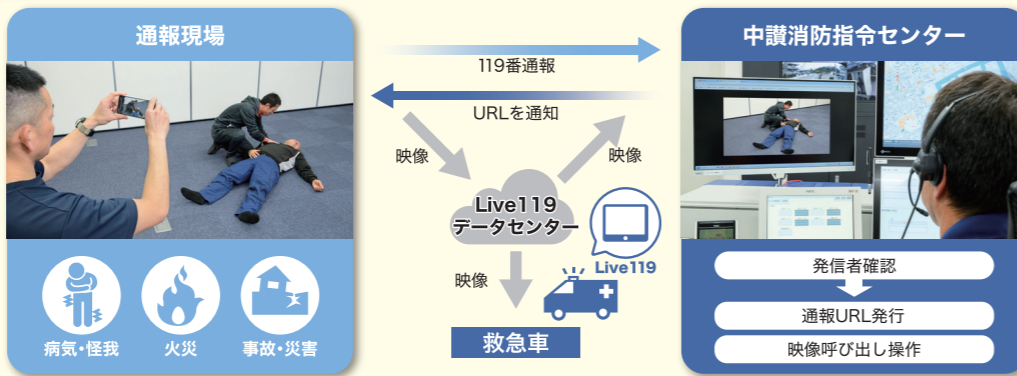
音声による119番通報が困難な方が、スマートフォンやFAXを利用して緊急通報できるシステムです。NET119では、事前登録情報やGPSによる位置情報、チャット機能により、音声を使わずに通報内容を伝えることが可能です。



映像通報受信装置

119番通報者が撮影した映像を指令センターで受信し、言葉では把握しにくい災害発生場所の早期特定、火災や交通事故などの災害状況の把握及び的確な応急手当や迅速な消防救助活動につなぐための装置です。

※本システムは、通報者の同意を得たうえで利用しています。また映像送信にかかる通信料は、通報者負担となります。



大規模災害に柔軟・確実に対応できる仕組み

指令台モード変更(大規模災害モード)

大規模災害時など通報が集中する状況下においては、モード切替により指令台を増強して対応ができます。的確かつ迅速に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。



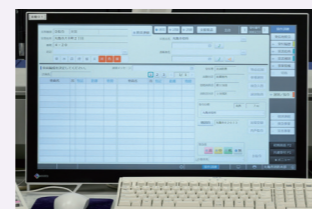
【通常運用時】
4画面のディスプレイを活用



【大規模災害時】
指令台を切替えて運用(最大9席使用可能)

データ指令機能

出動要請が集中した場合、指令センターは通報内容や発生場所などのデータを管轄消防本部へ送信します。各消防本部は、この情報をもとに適切な出動隊を編成できます。



迅速な情報共有・連携

車両運用端末装置

現場隊員が必要とする指令情報や地図情報、現場までの最短ルート、傷病者情報といった様々な支援情報をリアルタイムに受信、表示することができます。現場活動に必要な情報を迅速に提供することで、効率的な現場活動をサポートします。



指揮支援タブレット

各署所の指揮隊や消防隊に配備され、高度情報共有システムを用いることにより、災害現場で活動するリアルタイムな情報を共有できます。地水利調査等の署外活動中においては、水利情報等を管理するシステムに必要な情報を直接入力することができるため、業務の効率化を図ることができます。



高所監視カメラ

本部庁舎ならびに綾歌総合運動公園に設置された高所監視カメラにより24時間管内を監視しています。遠方の災害状況など超望遠レンズで捉えることで、災害現場の状況を瞬時に把握します。



集結点・目的地の受信・ルート案内

集結点を登録して、車両運用端末でルート案内することができます。指令台にて車両目的地を指定することで、救助活動後のドクターヘリのランデブーポイントなどへのルート案内も可能です。



災害情報共有システム

発生している災害事案や車両運用状況、医療機関情報といった最新の災害情報を消防本部、署所で情報共有することができます。大規模災害時には、情報共有をしながら連携して、迅速・的確な災害活動を行います。



消防OAシステム

火災・救急等の活動報告書の作成、台帳管理から災害時における情報伝達まで、消防事務全般を総合的にサポートするシステムです。災害時でも遠隔からシステムで情報を共有・管理でき、現場と本部間の連携が強化されています。

